

# Flash Back

～最近の出来事から～

## 大川家具を被災地復興へ!

### 大川家具支援出発式

7月12日、大川産業会館前で東日本大震災被災地への大川家具支援出発式が行われました。

この支援は、大川家具工業会が家具で被災地支援しようと福岡県が行政支援などを行っている宮城県東松島市へ生活家具を贈るものです。県を通じて、6月初めに現地が必要とされる家具のニーズを調査。

東松島市内の仮設住宅集会所6か所と市立野蒜小学校へ靴入れ棚やちゃぶ台、椅子などを届けました。

出発式では、植木市長が「数千キロの長旅になるが、安全に配慮し、無事に届けてください」と激励しました。



写真上段=被災地に向けて出発するトラック  
下段=配送を担うメンバー

## 母なる筑後川に感謝!

### えつ供養祭

7月22日、向島の筑後川昇開橋北側のえつ伝承碑公園で、大川観光協会、漁業協同組合、料飲店関係者など約20人が出席し、えつ供養祭が行われました。

大川観光協会の佐々木会長は、「母なる筑後川の恵みに感謝し、貴重な観光資源を守り育てながら、今後とも、多くのえつ観光客に喜んでいただける事業に発展させていきたい」と挨拶しました。

参加者は、神事後、流した葦がえつに姿を変えた弘法大師の伝説にちなんで、筑後川に葦の葉を投げ入れ、来年のえつ漁の豊漁とえつ観光の振興を祈りました。



来年の豊漁を願う参加者

## 犯罪や非行のない明るい社会

### 大川・大木地区青少年弁論大会

7月8日、市文化センターで大川保護区保護司会の主催により「第61回社会を明るくする運動」大川・大木地区青少年弁論大会が開催されました。

大会では、市内と大木町の中学生15人と大川樟風高校生1人が参加し、心と行動の関係、人とのつながり、地震から感じたこと、家族とのきずななどを熱く語りました。

中学生の部で、優秀賞に福山藍子さん(大川東中三年)、準優秀賞に中村美月さん(同中二年)、高校生の部で、最優秀賞に井上優奈さん(大川樟風高二)が選ばれ、筑後地区大会への出場を決めました。



思いを語る出場者

## 偉大な故人を偲んで

### 古賀政男命日祭

7月25日、古賀政男記念館・生家で三十四回忌となる古賀政男命日祭が開催されました。

命日祭では、大川文化協会茶道部による供茶のあと、読経のなか古賀政男顕彰会役員や親族など参加者が焼香し、故人を偲びました。

続いて、古賀メモロディーギターアンサンブルが、名曲「影を慕いて」を演奏し、故人の偉業を称えました。

顕彰会理事長の植木市長は「顕彰会として、日本人の心にしみいる名曲、また日本の音楽会に残した偉業を着実に、後生に伝えていくことが使命と考えています。」と挨拶しました。



故人を偲び焼香する参加者

## 差別のない社会をつくるため

### 同和問題啓発強調月間

7月7日、市内3か所で差別のない社会づくりをめざし、街頭啓発が行われました。

当日は、人権擁護委員会を中心として、ゆめタウン大川、ルミエール大川店、江頭エーザイ本店で、道行く人たちに「あらゆる差別をなくしましょう」と呼びかけながら、福岡県が開催する人権講演会や人権講座を周知するチラシおよび啓発グッズを配布しました。

大川市は、人権が尊重される差別のない社会づくりをめざし、様々な施策に取り組みしていきます。

市民のみなさんの笑顔が絶えないまちづくりをしましょう。



差別のない社会づくりを呼びかける植木市長